

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎鍼灸実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	実習室
担 当 教 員	向井、桑原、奥谷、大西、本多、奈良、溝上	実務経験とその関連資格	向井:光明堂鍼灸院にて勤務、患者の診察・治療・治療補助・受付などの業務を行う			
《授業科目における学習内容》						
鍼術・灸術の基礎知識を学び、基礎となる技術の習得に努め、適切な衛生的手技を用いて安全に施術できるようになる。また鍼術により人体の状態を感知し、かつ与える感覚(得気)をコントロールできるようになる。灸術により与える熱量をコントロールできるようになる。人体に対する施術の経験を積む。						
《成績評価の方法と基準》						
平常評価30%、期末評価70%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
『はりきゅう実技<基礎編>』『経絡経穴概論』『解剖学』、必要に応じてその都度プリント配布						
《授業外における学習方法》						
実技補習時間(金曜日 16:30~17:30)に積極的に参加し、自主練習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
この授業を通じて正しい鍼灸術の基礎を学びます。この時期で最も大切なことは「安全」です。何事も基本が大事です。適切な衛生概念を持って安全な施術を行う事、刺激量をコントロールする事、お互いを理解しながら共に技術を高めていく気持ちで取り組んで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	実技室使用上の注意事項、鍼治療の特徴を説明できる 鍼・鍼管の操作に慣れる		鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片手挿管の自主練習	
	各コマにおける授業予定	講義:鍼術オリエンテーション 実技:両手挿管法、片手挿管法の練習				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	灸治療の特徴について説明できる 艾炷の作製に慣れる		灸練習台 艾	実技補習や自宅での艾炷作成の自主練習	
	各コマにおける授業予定	講義:灸術のオリエンテーション 実技:艾炷の作製				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	鍼刺入法の種類・鍼刺入の一連の流れについて説明できる 片手挿管法が実践できる		鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片手挿管の自主練習	
	各コマにおける授業予定	講義:鍼刺入法の種類 鍼刺入の一連の流れについて 実技:片手挿管法				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	灸術の種類について説明できる 艾炷が作製できる		灸練習台 艾	実技補習や自宅での艾炷作成の自主練習	
	各コマにおける授業予定	講義:灸術の種類 実技:艾炷の作製				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	現行刺鍼手技について説明できる 片手挿管法が実践できる		鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片手挿管から刺鍼の自主練習	
	各コマにおける授業予定	講義:現行刺鍼手技(旋捻法・送り込み法)の説明 実技:片手挿管法の習得、現行刺鍼手技の練習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	第1回平常評価① 艾炷作製状況の確認 線香の使い方と点火方法が実践できる	灸練習台 艾	実技補習や自宅での艾 炷作成・線香を使つての 点火の自主練習
		各コマに おける 授業予定	平常評価①:米粒大艾炷の作成状況の確認 講義:線香の種類、製法、点火について 実技:大きさと形をそろえた艾炷を作製し、練習台に立て、点火 する		
第7回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	第1回平常評価② 片手挿管法習得状況の確認 様々な刺入角度を実践できる	鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片 手挿管・刺鍼の自主練 習
		各コマに おける 授業予定	平常評価②:片手挿管法習得状況の確認 講義:直刺・斜刺・横刺の説明 実技:現行刺鍼手技の練習、直刺・斜刺・横刺の練習		
第8回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	八分灸が実践できる	灸練習台 艾 線香 ライター 灰皿	実技補習や自宅での艾 炷作成・線香を使つての 点火の自主練習
		各コマに おける 授業予定	講義:透熱灸タイムトライアルの実施 実技:八分灸の練習		
第9回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	刺鍼の手技1が実践できる	鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片 手挿管・刺鍼の自主練 習
		各コマに おける 授業予定	講義:単刺術、雀啄術、間歇術、屋漏術、置鍼術 実技:片手挿管タイムトライアルの実施 刺鍼練習、様々な角度での刺鍼練習		
第10回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	灸術の過誤と副作用について説明できる 第2回平常評価② 透熱灸・八分灸の習得状況確認	灸練習台 艾 線香 ライター 灰皿	実技補習や自宅での艾 炷作成・線香を使つての 点火の自主練習
		各コマに おける 授業予定	講義:灸あたり、熱傷、化膿、発熱 実技:第2回平常評価② 透熱灸・八分灸の習得状況の確認		
第11回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	刺鍼の手技2が実践できる 第2回平常評価① 刺鍼手技の習得状況の確認	鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片 手挿管・刺鍼の自主練 習
		各コマに おける 授業予定	講義:振旋術、旋撚術、回旋術 実技:第2回平常評価① 刺鍼手技(旋撚法・送り込み法)の習得状況確認		
第12回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	消毒法を含めた一連の流れを実践できる	艾 線香 ライター 灰皿	実技補習や自宅での艾 炷作成・線香を使つての 点火の自主練習
		各コマに おける 授業予定	講義:消毒法を含めた一連の流れ、第3回平常評価の説明 実技:片手挿管トライアルの実施 消毒を含めた刺鍼練習		
第13回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	刺鍼の手技3が実践できる	鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習や自宅での片 手挿管・刺鍼の自主練 習
		各コマに おける 授業予定	講義:副刺激術、示指打法、随鍼術、内調術、細指術 管散術、鍼尖転移術、刺鍼転向術 実技:片手挿管トライアル、刺鍼転向術		
第14回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	鍼術の過誤と副作用について説明できる 鍼灸治療の適応と不適応について説明できる	灸練習台 艾 線香 ライター 灰皿	実技補習や自宅での艾 炷作成・線香を使つての 点火の自主練習
		各コマに おける 授業予定	講義:気胸、折鍼、出血、脳貧血、遺感覚、抜鍼困難 実技:消毒法を含めた一連の刺鍼練習・施灸練習 実技:消毒を含めた一連の刺鍼練習・施灸練習		
第15回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	練習台を使って、適切な衛生手技を用いて、安全に鍼術・灸術 ができる	鍼枕 銀鍼 鍼管	実技補習での自主練習
		各コマに おける 授業予定	第3回 平常評価 適切な衛生概念で、安全な鍼術・灸術が行えるかどうか確認す る		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアルの実施 自分の上肢の骨の触知の練習 自分の下肢に対する切皮練習・刺鍼練習		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアルの実施、自分の下肢の骨の触知の練習 自分の下肢に艾炷を立てる練習 灸燃焼時の熱緩和手技を学び、点火練習をする		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアルの実施 自分の上肢の骨の触知の練習 自分の下肢に対する切皮練習・刺鍼練習		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアルの実施 施灸部位を触知し、自分の下肢に艾炷を立てて、点火練習する 透熱灸・八分灸・瞬間灸の練習をする		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル 刺鍼部位を触知し、自分の下肢に直刺・斜刺・横刺を行う。 抵抗を感じた部分で雀啄などの手技を行う		
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標 人体施術の注意事項と手順の確認が実践できる 人体触知の注意事項と手順の確認が実践できる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアルの実施 施灸部位を触知し、自分の下肢に艾炷を立てて、点火練習する 透熱灸・八分灸・瞬間灸の練習をする		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標 ペアでの実技練習開始、清潔・安全な施術ができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル、上肢に対するペア同士の刺鍼練習 刺鍼部位の触知をペア同士で行う。 ペア同士でコミュニケーションをとりながら刺鍼練習を行う		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標 ペアでの実技練習開始、清潔・安全な施術ができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアル実施 施灸部位の触知をペア同士で行う 上肢に対するペアでの透熱灸・八分灸・瞬間灸を行う。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標 ペアでの実技練習開始、清潔・安全な施術ができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:上肢の触知をペア同士で行う 上肢に対するペアでの刺鍼・施灸練習		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標 安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル実施 下肢の刺鍼部位の触知をペアで行う。 鍼の太さ・長さを変えて刺鍼練習をする		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 灸トリアルの実施 下肢の施灸部の触知をペアで行う 関節周辺への透熱灸・八分灸・瞬間灸の施灸練習をする		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 下肢の触知をペアで行う 下肢への刺鍼・施灸の総合実技練習		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	清潔操作・施術部位の理解・安全な施術・患者さんへの配慮ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	平常評価④の練習 患者さんへの配慮をきちんと行い、清潔な概念で、安全な施術ができる		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 片手挿管トリアル 腰部の触知練習をペアで行う 直刺・斜刺・横刺などの練習を行う		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 灸トリアル実施 腰部の触知練習をペアで行う 腰部の棘突起間などの透熱灸・八分灸・瞬間灸を行		
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 片手挿管トリアル 腰殿部の触知練習をペアで行う 腰殿部への直刺・斜刺・横刺などの練習を行う		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 灸トリアル実施 腰殿部の触知練習をペアで行う 腰殿部の棘突起間などの透熱灸・八分灸・瞬間灸を行う		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	清潔操作・施術部位の理解・安全な施術・患者さんへの配慮ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	平常評価④		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 片手挿管トリアルの実施 頭部・頸部の解剖学的構造を学習後、ペアで触知練習をする 刺鍼練習を行う。		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
		各コマにおける授業予定	実技: 灸トリアルの実施 頭頂部、棘突起間の触知練習をペアでする 透熱灸(百会)・八分灸・瞬間灸の施灸練習をする		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアルの実施 腹部の解剖学的構造を簡単に学習後、ペアで触知練習をする 直刺・斜刺・横刺の刺鍼練習をする			
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握ができる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアルの実施 腹部の触知練習をペアでする 肋骨弓周囲での八分灸・瞬間灸を行う			
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル、 触知の復習と筋肉の触知練習をする 様々な直径・長さの鍼を使い、上肢・下肢・体幹に刺鍼練習する			
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアル 触知の復習と筋肉の触知練習をする 様々な部位への瞬間灸・八分灸・透熱灸の練習をする			
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル 触知練習 総合実技練習			
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル 触知練習 総合実技練習			
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアル 触知練習 総合実技練習			
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:片手挿管トライアル 触知練習 総合実技練習			
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:灸トライアル 触知練習 総合実技練習			
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全な施術の実施、鍼尖の感覚の把握、刺激量のコントロールができるようになる	鍼灸道具一式	実技補習での自主練習
	各コマにおける授業予定	実技:総合実技練習			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 46 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 47 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 48 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 49 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 50 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 51 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 52 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 53 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 54 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 55 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			